

リソースフル リーダー

1. 勇気と情熱の「源泉」

a. 「人の真の存在」を導き出す

b. 個人の自己実現と会社の発展の関係

c. マズローの人間の成長と組織における人の成長

d. 意識と脳を味方につける人間力

マズローの欲求段階説（自己超越欲求）

マズローの自己超越欲求

⑥ 自己超越
欲求

自我を忘れ目的のみに没頭し
貢献している状態

⑤ 自己実現
欲求

自分の能力を
引き出し創造的
活動がしたい

④ 尊厳欲求

他者から認められたい、
尊敬されたい

高次の欲求(内的充足)

③ 帰属欲求

集団に属した集団に属したい、
仲間が欲しい

低次の欲求(外的充足)

② 安全欲求

危機を回避したい、安全・安心な暮らしがしたい

① 生理的欲求

生きていくための基本的・本能的な欲求(食べたい、
飲みたい、寝たいなど)

精神的欲求

物質的欲求

成長動機

欠乏動機



「自己超越」 トランスパーソナル心理学（参考）

自己自身を超越する程度に応じてのみ、人間は自分自身を実現するのである。すなわち、人間はある事柄への従事またはある他の人格への愛によってのみ自己自身を実現するのである。言い換えれば、人間は、本来、ある事柄にまったく専心し、他の人格にまったく献身する場合にのみ全人間なのである。

出典：V.E.フランクル「人間とは何か 実存的な精神療法」

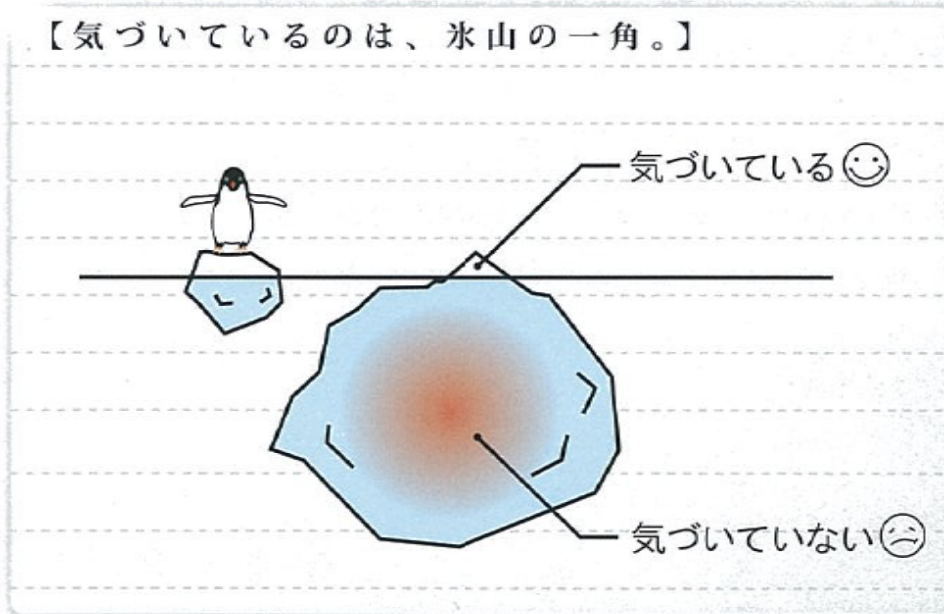
人間存在の本質は、自己実現ではなく、自己超越性にあります。自己実現は、もしそれが目的そのものになると達成されえず、ただ自己超越の副次的結果としてのみ達成されるものなのです。

出典：V.E.フランクル「意味による癒し ログセラピー入門」

意識と脳を味方につける人間力

NOTICED PART THE TIP OF THE ICEBERG

【気づいているのは、氷山の一角。】



潜在意識と顕在意識
無意識と表面意識
右脳と左脳
身体と心
感情や五感

顕在意識(自我)と
無意識の両者が
最善のステイトで
創造的に対話しな
がら、全く新しい
何かを創造

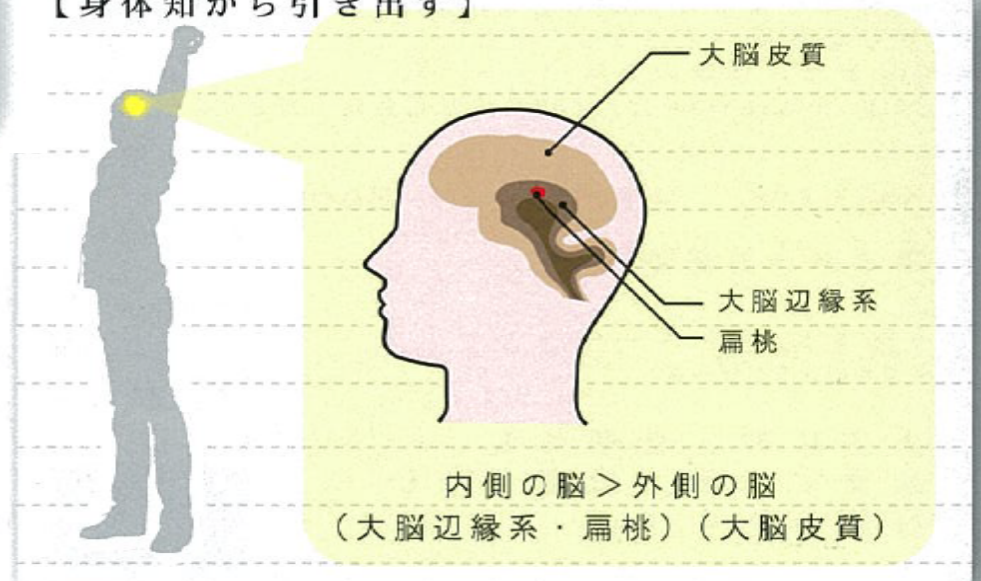
◆「人の真の存在」を どうやって導き出すのか

創造的フローの入口を開く

リソースフルな自分にセンタリングして
リソースが存在するフィールドへと
自らを開き、そこに留まる、戻る。

KNOWLEDGE DERIVED FROM THE BODY

【身体知から引き出す】



意識と脳を味方につける人間力

★意識

人間が活用できていない潜在意識は90%以上

★脳

左脳の情報処理速度が毎秒40ビット
右脳は1000万ビット

- 意識の使い方の枠組みをリフレームすることで創造的フローの入りを開く
- 顕在意識(自我)が現代人を創造性や可能性から分離している

出典: スティーブン・ギリガン「ジェネラティブ・トランス」



リソースフルな自分へのセンタリング

■ 意識の三階層

1. 根源意識(右脳半球): 自己意識のない全体性
2. 自我意識(左脳半球): 全体性をもたない自己意識
3. 生成意識(統合): 区別化された全体性の中での自己意識

■ 顕在意識は上手に創造的無意識と相互に影響し合い、尊重し合えるように再構築する必要がある。

■ 生成的自己を構成する3つの意識フィルター

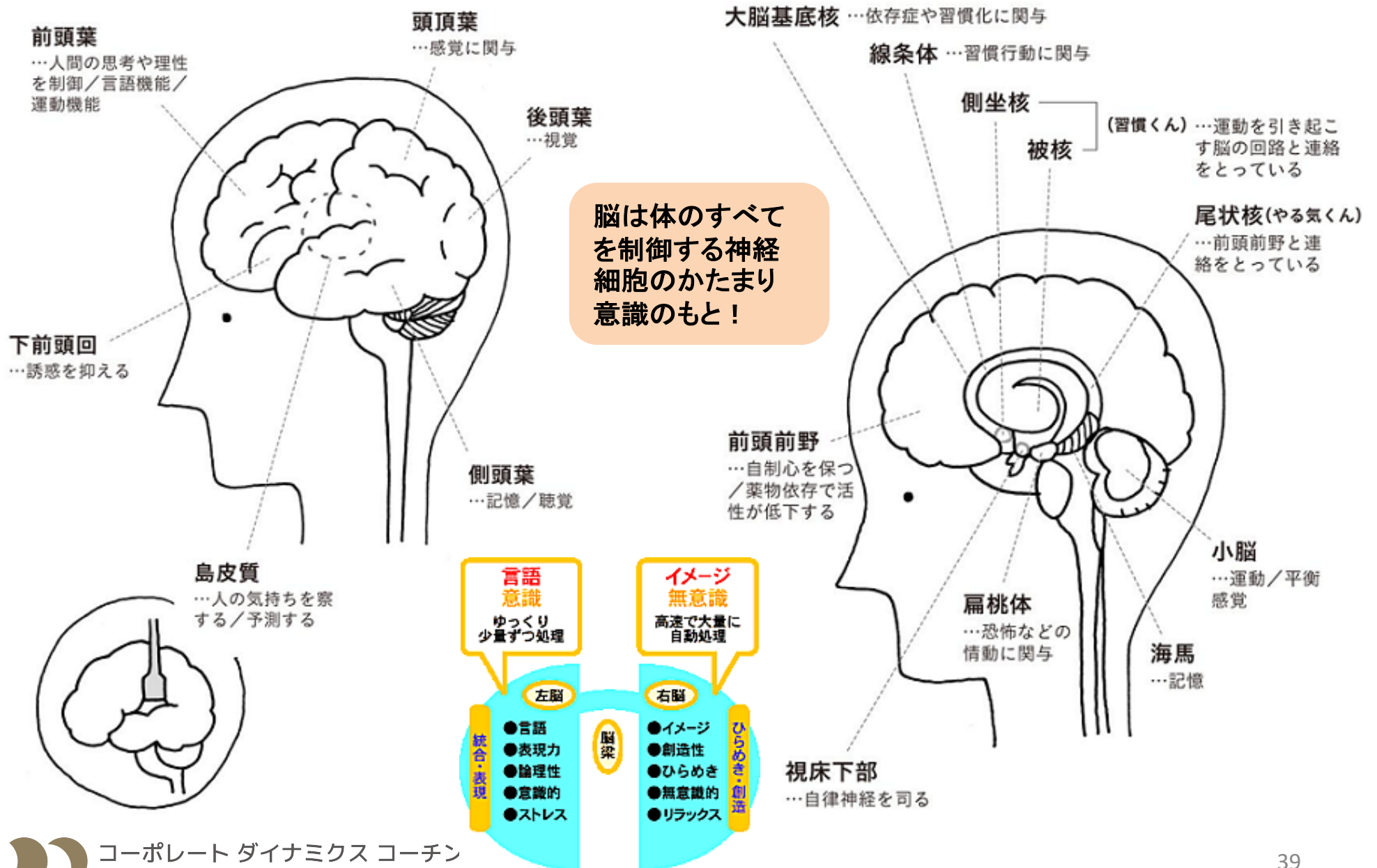
1. 身体意識
2. フィールド意識
3. 認知意識

出典: スティーブン・ギリガン「ジェネラティブ・トランス」



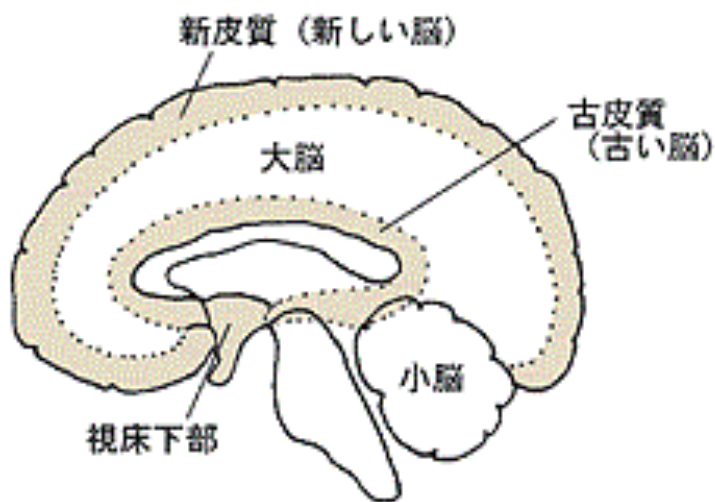
脳のしくみ（左脳・右脳）

参考



脳のしくみ（新しい脳・古い脳）

参考



情感
安心
喜び
好意
自制心



情動
不安
怒り
恐怖
衝動性

そこに感動がある限り、脳は進化を続けていくのです - 茂木健一郎「感動する脳」-

■ 身体的チューニングによるセンタリング

(音声誘導)

TIPS

やってみよう!

1. 内側に注意を向け、静まりを感じる
2. 思考から呼吸へと注意をシフトする
3. 緊張筋を解放する
4. 垂直軸を通して呼吸をする
5. リラックスして、腰を落とす